

公立大学法人宮崎公立大学の
令和 6 年度業務実績及び第 3 期中期目標の期間における
業務実績に関する評価結果

令和 7 年 8 月

宮崎市公立大学法人評価委員会

目 次

1	評価方法	… 3
2	全体評価	… 6
(1)	令和6年度業務実績	… 6
(2)	第3期中期目標期間業務実績	… 8
3	項目別評価	… 12
(1)	令和6年度業務実績	… 12
①	教育に関する目標	… 12
②	研究に関する目標	… 14
③	地域貢献に関する目標	… 15
④	国際化に関する目標	… 16
⑤	業務運営の改善及び効率化に関する目標	… 17
⑥	財務内容の改善に関する目標	… 18
⑦	自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標	… 19
⑧	大学改革に関する目標	… 20
(2)	第3期中期目標期間業務実績	… 21
①	教育に関する目標	… 21
②	研究に関する目標	… 24
③	地域貢献に関する目標	… 25
④	国際化に関する目標	… 26
⑤	業務運営の改善及び効率化に関する目標	… 27
⑥	財務内容の改善に関する目標	… 28
⑦	自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標	… 29
⑧	大学改革に関する目標	… 30

1 評価方法

宮崎市公立大学法人評価委員会は、公立大学法人宮崎公立大学（以下、「公立大学法人」という。）が作成した業務実績報告書を基に、法人の意見を聴取し、下記のとおり評価を行った。

○ 評価の構成

「項目別評価」と「全体評価」による。

○ 項目別評価の方法

中期目標に掲げる8つの大項目ごとに、以下の5段階により、実施状況を評価する。
なお、特筆すべき点や遅れている点については、取組の概要を記述する。

（中期目標に掲げる8つの大項目）

- ①教育に関する目標 ②研究に関する目標 ③地域貢献に関する目標
④国際化に関する目標 ⑤業務運営の改善及び効率化に関する目標
⑥財務内容の改善に関する目標
⑦自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標 ⑧大学改革に関する目標

（評価基準）

評価（事業年度）	評価（中期目標期間）	判断の目安
S 中期計画の進捗は 優れて順調	S 中期目標を十二分に 達成している	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上であり、かつ、顕著な実績や特に優れた成果があると評価委員会が認める場合
A 中期計画の進捗は 順調	A 中期目標を十分 達成している	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「A」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「A」評価相当と認める場合
B 中期計画の進捗は 概ね順調【標準】	B 中期目標を概ね 達成している【標準】	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「B」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「B」評価相当と認める場合
C 中期計画の進捗は やや遅れている	C 中期目標は やや未達成	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「C」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「C」評価相当と認める場合
D 中期計画の進捗は 著しく遅れている	D 中期目標は 未達成	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.8以下である場合

(個別記載事項ごとの評価)

項目ごとの評価を実施するため、年度計画の個別記載事項ごとに、以下の5段階の達成度により評価し、中期計画の個別記載事項ごとにあらかじめ設定された難易度・重要度から評点を算出する。なお、個別記載事項に複数の取組や事業（定量的指標を含む）が位置付けられている場合には、取組や事業毎に評価を行い、平均値を当該個別記載事項ごとの達成度とする。

達成度（事業年度）	判断の目安
V 年度計画を予定よりはるかに上回って実施している	・年度計画における所期の目標を上回る顕著な実績や特に優れた成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の120%以上
IV 年度計画を予定より上回って実施している	・年度計画における所期の目標を上回る実績や成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の110%以上120%未満
III 年度計画を予定どおり実施している【標準】	・年度計画における所期の目標を達成している ・定量的指標においては達成度が目標値の90%以上110%未満
II 年度計画の実施状況が予定を下回っている	・年度計画における所期の目標を下回っており、改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%以上90%未満
I 年度計画の実施状況が予定を著しく下回っている	・年度計画における所期の目標を下回っており、抜本的な改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%未満

達成度（中期目標期間）	判断の目安
V 中期計画を予定よりはるかに上回って達成している	・中期計画における所期の目標を上回る顕著な実績や特に優れた成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の120%以上
IV 中期計画を予定より上回って達成している	・中期計画における所期の目標を上回る実績や成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の110%以上120%未満
III 中期計画を予定どおり達成している【標準】	・中期計画における所期の目標を達成している ・定量的指標においては達成度が目標値の90%以上110%未満
II 中期計画の達成状況が予定を下回っている	・中期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%以上90%未満
I 中期計画の達成状況が予定を著しく下回っている	・中期計画における所期の目標を下回っており、抜本的な改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%未満

(評点の算出方法)

達成度 難易度・重要度	I	II	III	IV	V
	年度計画／中期計画の実施／達成状況が予定を著しく下回っている	年度計画／中期計画の実施／達成状況が予定を下回っている	年度計画／中期計画を予定どおり実施／達成している【標準】	年度計画／中期計画を予定より上回って実施／達成している	年度計画／中期計画を予定よりはるかに上回って実施／達成している
D 1	3	3	4	5	5
D 2	2	3	4	4	5
D 3	1	2	3	3	4

(難易度・重要度の考え方と第3期中期計画における設定)

難易度・重要度	定義	第3期中期計画における設定
D 1	設立団体である市の重要施策と関連する取組や国の施策・動向に関連する取組	[6]優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進 [7]就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上
D 2	公立大学法人並びに大学の業務遂行及び管理運営の改革・改善に資する取組	[3]他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動 [4]地域での体験学習や学外学習活動 [17]地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開 [26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施
D 3	公立大学法人並びに大学の業務遂行に係る一般的な取組	上記以外

○ 全体評価の方法

「項目別評価」の結果を踏まえ、公立大学法人の業務全体の実績評価について、記述式により、年度計画・中期計画を総括する。特に、地域の高等教育機関としてさらに発展するために、大学の特色ある取組やさまざまな工夫について積極的に評価し、記述するとともに、必要に応じて組織や業務の課題や改善点等も記述する。

○ その他

令和7年度については、地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第78条の2第1項第2号に基づく評価を実施するとともに、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(令和5年法律第58号)附則第3条第3項の規定に基づき、第3期中期目標の期間(平成31年4月1日から令和7年3月31日まで)の事業年度である令和6年度の評価を実施する。

2 全体評価

(1) 令和6年度業務実績

公立大学法人は、平成19年度の地方独立行政法人化以降、主体的・自律的な大学運営に努めている。

令和6年度は、公立大学法人の設立者である宮崎市が平成30年9月に定め、公立大学法人へ指示を行った第3期中期目標（目標期間:平成31年4月1日から令和7年3月31日まで）の達成に向けて、51項目の計画に取り組んだ。

評価委員会において、公立大学法人の作成した業務実績報告書をもとに、公立大学法人の意見を聴取しながら、各計画の業務実績について評価を行った結果、後述のとおり、中期目標に掲げる8つの項目中、1つの項目で中期計画の進捗は順調、7つの項目で中期計画の進捗は概ね順調であると判断した。

このことから、令和6年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体として概ね順調に進捗していると評価する。

なお、令和6年度の業務実績のうち、特色や工夫ある大学の取組として、以下を確認したところであり、今後も地域の高等教育機関として更なる発展に取り組まれない。

教育に関する目標

[4] 地域での体験学習や学外学習活動

・年度計画〈4〉実施事項（ア）

各学生の興味関心を大切にしながら、テーマ設定する教科運営は大切であり評価したい。

また、令和5年度よりテーマ数が増え、各テーマ内容も地域課題に即したものが設定されている。

学生が基幹演習C等で取り組んだ有意義なプロジェクトにおいては、学びだけでなく行政と連携して取組を発展させていくなど、何らかの形で活用され発展することを期待したい。

このような地域での体験学習や学外学習活動に関する積極的な取組は評価できる。

[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上

・年度計画〈9〉実施事項（ア）（イ）

県内企業の魅力を伝える取組について、ガイダンスや業界研究セミナーの実績の検証・分析をもとに実施内容の工夫・改善を図った結果、参加者数が増加しており成果が上がっている。

この取組が、県内就職者の増加に表れてくることを期待する。

・年度計画〈10〉実施事項（イ）

長期実践型インターンシップの実施事項が適切に評価され、その結果が担当教員の研究論文として集約化されている。

このような就職・キャリア支援に関する積極的な取組は評価できる。

[10]心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援

- ・年度計画〈13〉実施事項（ア）

障がい学生の支援に向けた適切な研修が実施されている。

このような心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援に関する積極的な取組は評価できる。

国際化に関する目標

[23]地域社会における国際交流活動の推進

- ・年度計画〈25〉実施事項（ア）

学生及び留学生と地域住民との交流が促進され、市と連携して学内に設置されたMHUBが促進効果を高めている。

このような地域社会における国際交流活動の推進に関する積極的な取組は評価できる。

また、令和6年度業務実績のうち、以下のとおり課題や取組の進展が期待される事項を確認したため、今後の取組に当たって参考にされたい。

地域貢献に関する目標

[19]地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進

- ・年度計画〈22〉実施事項（イ）

「ホテル接客英語講座」と「サービス業従事者のための接客韓国語講座」の2つを開講しているが、地域の具体的なニーズに対応し、さらなる多様なプログラムの需要が存在する可能性がある。

今後のさらなる発展のため、そういったニーズを把握することで、地元企業の人手不足、外国人雇用の増大に伴う、語学習得や異文化共生という地域課題に対して、企業と連携した教育課題の設定ができるのではないかと考える。

「地域での学び」が学生のキャリア形成に好影響を与えていることが確認された一方で、教育的成果の定量的把握や継続的フィードバックについて検討願いたい。

(2) 第3期中期目標期間業務実績

公立大学法人は、平成19年度の地方独立行政法人化以降、主体的・自律的な大学運営に努めている。

公立大学法人の設立者である宮崎市が平成30年9月に定め、公立大学法人へ指示を行った第3期中期目標（目標期間:平成31年4月1日から令和7年3月31日まで）の達成に向けて、40項目の計画に取り組んだ。

評価委員会において、公立大学法人の作成した業務実績報告書をもとに、公立大学法人の意見を聴取しながら、第3期中期目標期間の各項目の業務実績について評価を行った結果、後述のとおり、中期目標に掲げる8つの項目全てで中期目標を概ね達成していると判断した。

このことから、第3期中期目標期間の業務実績については、全体として概ね達成していると評価する。

なお、第3期中期目標期間の業務実績のうち、特色や工夫ある大学の取組として、以下を確認したところであり、今後も地域の高等教育機関として更なる発展に取り組まれない。

教育に関する目標

[1]教養教育における「国際文化学」の体系化

・実施事項① ② ③

「国際文化学」は学び方によって学修成果が分かれる科目であり、その体系化と教育の充実を目指すことは、中期計画工程表で示された「カリキュラムマップ作成と実施」以上の取組である。

また、学年ごとのカリキュラムツリー、レーダーチャートの作成、その活用を促す教育活動も積極的になされている。

このような取組は評価できるものであり、今後は学生の活用状況などから評価し、さらに教育の充実に資するものとして発展していくことを期待する。

[2]外国語によるコミュニケーション能力の育成

・実施事項③

授業外での外国語の学習について、年間延べ利用者数が目標を大きく超えており、担当教員の工夫が成果につながっていることは評価できる。

外国語での授業における課題も細かく把握していることから、今後の一層の工夫が期待される。

また、さらなる発展のため、今後は学習成果の把握方法について検討願いたい。

[4]地域での体験学習や学外学習活動

・実施事項① ② ③

「基幹演習A」「基幹演習B」からの学びを発展させ、実践にまでつなげる「基幹演習C」科目の開設は、地域課題に主体的に取り組む人材育成において意義がある。

このような取組は評価できるものであり、今後履修者が増え、大学の特色ある教育

科目として発展することを期待したい。

[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進

・実施事項① ② ③ ④

県内出身者の入学促進に向けた選抜方法の検証や県内高校訪問、各種の広報などの真摯な取組により着実な成果が表れている。

このような優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進に関する積極的な取組は評価できる。

[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上

・実施事項①

長期実践型インターンシップに講義内容を変更したことは評価できる。

地域と連携したPBL（課題解決型学習）の教育プログラムを確立すると共に、成果の指標化を期待する。

なお、県内就職者の増加については、学生が就職先に何を求めているのか、企業側が学ぶ場があってもよいと考える。

教育機関、企業、行政が三位一体となった取組が期待される。

研究に関する目標

[14] 研究の質の向上と研究環境の整備

・実施事項① ②

教育・研究・地域貢献・大学管理を求められる教員への研究時間の確保は、研究支援において重要である一方、なかなか解決しにくい課題である。

その課題解決のために、研修日制度の改正を行うとともに、サバティカル制度の導入を検討し、実施に向けて準備を進め、着実に実施できる段階に来ていることは評価できる。

このような研究の質の向上と研究環境の整備に関する積極的な取組は評価できる。

地域貢献に関する目標

[17] 地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開

・実施事項①

「地域貢献活動リスト」が実装され、取組上の効果をあげている。

また、適宜改訂作業が行われ、かつ課題・ニーズの把握にも資する取組となっている。

このような工夫ある取組は評価できる。

[19] 地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進

・実施事項①

コロナ禍を経て、外国人のインバウンドが急増する一方、観光業の人材不足が課題となる中、企業等へのヒアリングを通して観光・サービス業の外国語会話のニーズを的確に把握し実践していることは評価できる。

企業にとっては、既存の人材のリスキリングにもつながる取組であり、今後の展開に期待する。

・実施事項④

中期計画で掲げた「地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進」に資する様々な取組を行っており、このような積極的な取組は評価できる。

国際化に関する目標

[23] 地域社会における国際交流活動の推進

・実施事項①

コロナ禍においても工夫をこらし、留まることなく業務を遂行した。

コロナ禍後も対面での交流を速やかに再開し、大がかりなイベントに共催し会場を提供することで多くの交流機会を創出した。

このような地域社会における国際交流活動の推進に関する積極的な取組は評価できる。

また、第3期中期目標期間の業務実績のうち、以下のとおり課題や取組の進展が期待される事項を確認したため、今後の取組に当たって参考にされたい。

教育に関する目標

[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上

・実施事項① ②

県内出身者の県内就職率が64.7%に留まっている。

県内企業の認知度をあげるための企業説明会の参加をさらに活発化させ、県内就職率を高める取組について検討されたい。

また、「地域での学び」が学生のキャリア形成に好影響を与えていることが確認された一方で、教育的成果の定量的把握や継続的フィードバックについて検討願いたい。

業務運営の改善及び効率化に関する目標

[26] 優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施

・実施事項③

少子高齢化に伴い、将来人手が不足することは、どの組織も例外ではない。

計画的な人材補充と適材配置の方針作りが求められる。

中長期的な人材戦略の策定を検討されたい。

財務内容の改善に関する目標

[33] 安定的な志願者及び入学者の確保

・実施事項① ② ③ ④

志願者確保については、外的要因による影響が大きく回避できない重要な問題である。

魅力的な大学としての差別化はもちろんであるが、その魅力を伝える広報の役割は

大きい。SNS等を利用した広報は他の大学でも行っていることから、より一層の工夫による広報の差別化を検討されたい。

自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた広報活動の展開

・実施事項① ②

「認知度」を定量的に把握する方法はないか研究することも肝要と考える。

また、ホームページの閲覧状況を、月毎や期毎、さらにはどの時期にどの項目・事項が多く閲覧されたかを把握できれば、よりメリハリのある効果的な広報となるものと考えため検討願いたい。

終わりに、第3期中期目標期間を通じ、大学教育の動向や大学の課題を的確に捉え、必要なアクションを随時実行することで、教育の質向上のための取組が着実になされて来たことは評価できる。

特に、コロナ禍という困難な状況下においても、計画の実施に際して様々な工夫を凝らし、諦めることなく積極的に対応したことは特筆すべき点である。

このような柔軟かつ迅速な変化への対応力は、今後の大学運営においても不可欠であると考える。

18歳人口減少に伴い大学の統廃合が検討される時代において、各大学にはその存在意義と価値をこれまで以上に明確に打ち出すことが求められている。

実利に直結する理工系分野に注目が集まりがちであるが、宮崎公立大学が長年培ってきたリベラルアーツ教育、そして分野横断的な「知」の融合を目指す教育は、その真価が問われるのはこれからであるとしても、社会にとって極めて重要なものであると考える。

また、社会課題や地域課題に積極的に関与しながら、地域社会の中で重要な役割を果たしていくことも必要であると考える。

今後も30数年にわたる大学の豊かな蓄積を大切にしながら、さらなる発展に向けて大学運営を進めていくことを期待する。

3 項目別評価

(1) 令和6年度業務実績

<評価結果の概要>

	S	A	B	C	D
① 教育に関する目標		○			
② 研究に関する目標			○		
③ 地域貢献に関する目標			○		
④ 国際化に関する目標			○		
⑤ 業務運営の改善及び効率化に関する目標			○		
⑥ 財務内容の改善に関する目標			○		
⑦ 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標			○		
⑧ 大学改革に関する目標			○		

① 教育に関する目標

評価	判断理由
A 中期計画の進捗は順調	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が3.5以上4.2以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[1]教養教育における「国際文化学」の体系化	〈1〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[2]外国語によるコミュニケーション能力の育成	〈2〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈2〉 イ	Ⅲ			
[3]他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動	〈3〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈3〉 イ	Ⅲ			
[4]地域での体験学習や学外学習活動	〈4〉 ア	Ⅳ	Ⅳ	D 2	4
	〈4〉 イ	Ⅲ			
[5]教員の教育能力の向上と教育の質の改善・向上	〈5〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈5〉 イ	Ⅲ			
[6]優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進	〈6〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	〈6〉 イ	Ⅲ			
	〈7〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	〈7〉 イ	Ⅲ			
	〈8〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
[7]就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上	〈9〉 ア	V	V	D 1	5
	〈9〉 イ	Ⅳ			
	〈10〉 ア	Ⅲ	Ⅳ	D 1	5
	〈10〉 イ	Ⅳ			
[8]教職に関する学生の資質向上	〈11〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈11〉 イ	Ⅲ			

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[9]教職関連の就職を目指す学生の就職支援	〈12〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈12〉イ	Ⅲ			
	〈12〉ウ	Ⅲ			
	〈12〉エ	Ⅲ			
[10]心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援	〈13〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈13〉イ	Ⅲ			
[11]経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型奨学金」への対応	〈14〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈14〉イ	Ⅲ			
[12]個々の学生に対応した履修相談や学習相談	〈15〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈15〉イ	Ⅲ			
合計					54
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.6

(特筆すべき点)

[4]地域での体験学習や学外学習活動

〈4〉地域の課題解決に主体的に取り組むことのできる実践力と創造的な問題解決能力を身に付けるため、地域での体験学習や学外学習活動を組み込んだ科目として「基幹演習C」を開講し、適正に運用

(ア) 前期開講科目として「基幹演習C」を開講し、8名の学生が受講した。今年度はグループワークではなく、学生一人ひとりが各自で興味のあるテーマを選んで地域課題に取り組んだ結果、昨年度より多い8つのテーマに分かれて地域課題に取り組んだ。

[7]就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上

〈9〉県内企業の魅力を伝えるガイダンス・セミナー・説明会等を開催

(ア) 令和5年度のキャリア部会での意見交換を基に、就職ガイダンスの改善を行った結果、参加学生数が大幅に増加し、前期は前年度比約200%、後期も約120%の増加を達成した。

(イ) 令和5年度の業界研究セミナー等において、参加者分析に基づき改善策を実施した結果、業界研究セミナーの参加者数が前年度比で約120%に増加した。その他、2年生の必修科目「キャリア設計」においても、卒業生の講話や企業インタビューなどを通じて、宮崎で働くことの魅力や地元企業の認知度向上に取り組んだ。

〈10〉ディプロマ・ポリシーに掲げる主体性や問題解決力などの能力を学生が身につけることができる長期実践型の教育的効果の高いインターンシップを企画・運営するとともに、第3期中期計画期間の実施事項について評価を実施

(イ) 「プロジェクト・インターンシップ」の社会人基礎力に関する効果について、令和4年度及び令和5年度の受講生を対象に分析を実施。全体的に自己評価は上昇し、特に「働きかけ力」「課題発見力」「創造力」など7項目で有意な向上が見られた。

(遅れている点)

・特になし

② 研究に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[13]各種助成事業を活用した研究活動の活性化	〈16〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[14]研究の質の向上と研究環境の整備	〈17〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈17〉イ	Ⅲ			
[15]研究成果の地域社会への還元	〈18〉ア	V	V	D 3	4
	〈19〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					13
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

（特筆すべき点）

[15]研究成果の地域社会への還元

〈18〉論文発表、書籍出版及び学会発表等の教員の研究成果について、ウェブサイト等を通じて積極的に発信

（ア）令和6年度前期当初及び後期当初に、教員に対して研究成果の情報提供を依頼し、学内外への発信を強化した結果、前年度の32件を上回る計47件の発信を行った。

（遅れている点）

・特になし

③ 地域貢献に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[16]地域貢献に関する基本方針の見直し ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[17]地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育 活動の展開	〈20〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈20〉イ	Ⅲ			
[18]ニーズに即した生涯学習事業の推進	〈21〉ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	〈21〉イ	Ⅲ			
[19]地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育 の推進	〈22〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈22〉イ	Ⅲ			
合計					10
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

（特筆すべき点）

[18]ニーズに即した生涯学習事業の推進

〈21〉定期公開講座、自主講座、語学講座、公民館講座等の各種公開講座を実施するとともに、受講者アンケートの結果等を踏まえ、必要に応じた見直しを実施

（ア）年度計画に基づき、自主講座12件、語学講座6件、定期公開講座6件、リカレント教育講座2件、小学3・4年生向け英語教室1件、公民館講座2件を実施した。

（遅れている点）

・特になし

④ 国際化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[20]国際交流に関する基本方針の見直し ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[21]新たな海外協定校の開拓	〈23〉 ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
[22]留学生の受入れプログラムの充実	〈24〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[23]地域社会における国際交流活動の推進	〈25〉 ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	〈25〉 イ	Ⅲ			
[24]市内の小・中学校等の教育機関と連携した教育研究 活動	〈26〉 ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈26〉 イ	Ⅲ			
合計					12
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

（特筆すべき点）

[21]新たな海外協定校の開拓

〈23〉 学生の海外派遣と留学生の受入れを促進するため、新たな海外協定を締結

（ア）令和6年6月に米国のグリーンリバーカレッジと新規協定を締結し、「異文化実習」と「短期受入研修」の2つのプログラムを実施した。

[23]地域社会における国際交流活動の推進

〈25〉 学生及び留学生と学外団体や地域住民との交流機会を創出

（ア）宮崎市や宮崎青年会議所など、地域と連携した多様な国際交流活動を実施した。具体には、学内に設置された外国人相談窓口「MHUB」の記念イベントへの参加や、中国や米国の短期研修生の祭りへの参加、生活・防災に関するセミナーの受講、市制100周年式典パレードへの参加を行った。
また、宮崎青年会議所主催の国際交流イベントを昨年度に続き学内で共催。学生が運営ボランティアとして参加し、地域住民との交流の機会を創出した。

（遅れている点）

・特になし

⑤ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[25]適切な意思決定と組織及び業務運営の改善	〈27〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈27〉イ	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	〈28〉ア	Ⅱ	Ⅱ	D 2	3
	〈29〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈30〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈30〉イ	Ⅲ			
	〈31〉ア	Ⅲ			
[27]教職員の能力及び資質向上への取組	〈32〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈32〉イ	Ⅲ			
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施	〈33〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈33〉イ	Ⅲ			
	〈34〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[29]ハラスメント防止・対策の徹底	〈35〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[30]災害等の有事における危機管理への対応	〈36〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈36〉イ	Ⅲ			
	〈36〉ウ	Ⅲ			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応	〈37〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈37〉イ	Ⅲ			
	〈38〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					39
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

(特筆すべき点)

・特になし

(遅れている点)

[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施

〈28〉教育・研究・地域貢献・大学運営等に関する業績を適正に評価するための教員評価制度を検討

(ア) 宮崎県立看護大学を訪問し、教員評価の運用及び課題について聞き取りを行った。これまでの検討も踏まえ、教員評価（案）を策定中である。

⑥ 財務内容の改善に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[32]経費の削減及び効果的な予算編成	〈39〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈39〉イ	Ⅲ			
	〈39〉ウ	Ⅲ			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	〈40〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈40〉イ	Ⅲ			
	〈41〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈41〉イ	Ⅲ			
	〈41〉ウ	Ⅲ			
	〈42〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈43〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈43〉イ	Ⅲ			
[34]産学官等との連携による寄附講座の開設	〈44〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[35]研究活動における外部資金の獲得	〈45〉ア	Ⅲ	Ⅳ	D 3	3
	〈45〉イ	Ⅴ			
[36]長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用	〈46〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈46〉イ	Ⅲ			
[37]計画的な情報システムの整備と有効活用	〈47〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈47〉イ	Ⅲ			
合計					27
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

[35]研究活動における外部資金の獲得

〈45〉研究活動における外部資金の獲得に向けて、公募情報や採択事例を積極的に周知し、各研究助成事業の応募促進を企図。また、科学研究費助成事業については、これまで採択された教員を中心に依頼し、応募支援に係る講習会を実施、より応募しやすい環境を設定。

(イ) 科学研究費以外の外部研究助成事業について、7件の応募があった。そのうち3件が採択され、3件が審査中となっている。

(遅れている点)

・特になし

⑦ 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動	〈48〉ア	III			
	〈48〉イ	III	III	D 3	3
	〈48〉ウ	III			
[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた広報活動の展開	〈49〉ア	III	III	D 3	3
	〈51〉ア	III			
	〈51〉イ	III	III	D 3	3
合計					9
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

・特になし

(遅れている点)

・特になし

⑧ 大学改革に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[40]時代の変化に対応した教育改革	〈51〉ア	III	III	D 3	3
合計					3
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(2) 第3期中期目標期間に係る業務実績

<評価結果の概要>

	S	A	B	C	D
① 教育に関する目標			○		
② 研究に関する目標			○		
③ 地域貢献に関する目標			○		
④ 国際化に関する目標			○		
⑤ 業務運営の改善及び効率化に関する目標			○		
⑥ 財務内容の改善に関する目標			○		
⑦ 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標			○		
⑧ 大学改革に関する目標			○		

① 教育に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	工程表 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[1]教養教育における「国際文化学」の体系化	①	IV	IV	D 3	3
	②	IV			
	③	IV			
[2]外国語によるコミュニケーション能力の育成	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	IV			
[3]他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動	①	III	III	D 2	4
	②	III			
	③	III			
[4]地域での体験学習や学外学習活動	①	III	III	D 2	4
	②	III			
	③	III			
[5]教員の教育能力の向上と教育の質の改善・向上	①	III	III	D 3	3
	②	III			
[6]優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進	①	III	III	D 1	4
	②	III			
	③	III			
	④	—			
[7]就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上	①	III	IV	D 1	5
	②	IV			

個別記載事項	工程表 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[8]教職に関する学生の資質向上	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
[9]教職関連の就職を目指す学生の就職支援	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
	④	III			
[10]心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
	④	III			
[11]経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型奨学金」への対応	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
[12]個々の学生に対応した履修相談や学習相談	①	III	III	D 3	3
合計					41
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.4

(特筆すべき点)

[1]教養教育における「国際文化学」の体系化

- ①「国際文化学」を体系的に学ぶための方策について、学内で意見交換するとともに、他大学の事例調査や実地視察を行った結果、カリキュラムの設計方法、初年次教育での学生自身の学びの設計の重要性などを把握した。これらの知見を基に、初年次教育の授業で、学生自身が学びを設計していくよう案内を開始するとともに、学生が学びを設計しやすくするため、「カリキュラムツリー」と「カリキュラムマップ」を作成した。
- ②リベラルアーツにおける分野横断的な学びを推進するため、専任教員にアンケートを実施した結果を基に、「カリキュラムマップ」を作成。履修ガイダンス等で学生に周知した。
- ③令和3年度に作成した「カリキュラムマップ」を、より分かりやすくするため、学年ごとに科目の性質や関連性を示した「カリキュラムツリー」と、各専攻の履修でどのようなスキルが身につくかをレーダーチャートで可視化した「カリキュラムマップ」を作成。学生が自身の履修計画を立てる際の参考となるよう周知。

[2]外国語によるコミュニケーション能力の育成

- ③授業外での外国語学習機会の提供として、英語・中国語・韓国語の学習支援を実施し、過去6年間の年間延べ利用者数は目標の400名を超えている。また、前述の学習支援とは別に、専門科目など語学以外の授業においても、外国語を主言語とする授業を実施している。

[7]就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上

- ②教育的効果の高いインターンシップを実施するため、専門人材の配置と支援体制の強化、宮崎県内連携企業での独自プログラムの開始、教育的効果の測定を行い、今後も検証と改善を継続していく。

(遅れている点)

- ・特になし

② 研究に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[13]各種助成事業を活用した研究活動の活性化	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[14]研究の質の向上と研究環境の整備	①	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	②	Ⅳ			
[15]研究成果の地域社会への還元	①	V	V	D 3	4
	②	V			
合計					10
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

(特筆すべき点)

[14]研究の質の向上と研究環境の整備

- ①研究成果を検証・評価する方策について、他大学の事例調査や関連規程等の収集を行い、評価に必要な項目や課題の洗い出しを行った。これまでの検討結果等を参考に、教員評価への反映を検討した。
- ②既存の研究支援策の課題を検討し、研修日制度の一部変更を行った。また、新たな研究支援策として、サバティカル研修制度の導入準備を進め、令和8年度からの制度開始を目指し、研修中の授業への対応など、具体的な運用方法の検討を継続している。

[15]研究成果の地域社会への還元

- ①教員の研究成果について、ウェブサイト等を活用し、学内外に6年間で合計280回(年平均46.6回)の発信を行った。
- ②「学長裁量助成事業」を活用した新たな研究成果の還元のため、6年間で合計10回(年平均2.5回)の研究成果発表を行った。

(遅れている点)

- ・特になし

③ 地域貢献に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[16]地域貢献に関する基本方針の見直し	①	III	III	D 3	3
[17]地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開	①	IV	III	D 2	4
	②	III			
	③	III			
	④	III			
[18]ニーズに即した生涯学習事業の推進	①	III	III	D 3	3
[19]地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進	①	IV	IV	D 3	3
	②	III			
	③	III			
	④	IV			
合計					13
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

(特筆すべき点)

[17]地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開

- ①地域貢献活動を推進するため、教員の専門知識や研究テーマをまとめた「地域貢献活動リスト」を令和4年度までに作成し、自治体や企業へのヒアリングに活用している。また、令和6年度に教員の顔写真や、ホームページにアクセスできるQRコードを追加する改訂を行った。

[19]地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進

- ①大学の強みである語学を活かしたリカレント教育の可能性を探るため、「地域貢献リスト」を活用してヒアリングを行った。
- ④受講者アンケートや派遣企業へのヒアリング等をとおして、次年度開講に向け課題等を整理し活かすべく努めている。アンケート等で韓国語・中国語講座に対するニーズが明らかになったため、令和5年度から新たな講座を開講した。また、令和6年度から講座を改編し、対象を広げた。

(遅れている点)

- ・特になし

④ 国際化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[20]国際交流に関する基本方針の見直し	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[21]新たな海外協定校の開拓	①	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[22]留学生の受入れプログラムの充実	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[23]地域社会における国際交流活動の推進	①	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[24]市内の小・中学校等の教育機関と連携した教育研究活動	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
合計					15
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

[21]新たな海外協定校の開拓

- ①学生・保護者からの興味・関心が高い英語圏を中心に、ワイカト大学（ニュージーランド）、グリーンリバーカレッジ（米国）と協定を締結した。

[23]地域社会における国際交流活動の推進

- ①コロナ禍以前の平成31年度は、学外イベントへの学生派遣や、短期研修受入でのホームステイなどを通じ、交流を行っていた。令和2年度以降は、コロナ感染症の影響により、対面活動を中止し、オンラインで形式を工夫して交流を継続した。令和5年度及び令和6年度は、対面でのイベントを再開した。

(遅れている点)

- ・特になし

⑤ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[25]適切な意思決定と組織及び業務運営の改善	①	III	III	D 3	3
	②	III			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	①	II	III	D 2	4
	②	III			
	③	III			
	④	III			
[27]教職員の能力及び資質向上への取組	①	III	III	D 3	3
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
[29]ハラスメント防止・対策の徹底	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
	④	III			
[30]災害等の有事における危機管理への対応	①	III	III	D 3	3
	②	III			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応	①	III	III	D 3	3
	②	III			
合計					22
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.1

(特筆すべき点)

・特になし

(遅れている点)

[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施

- ①教員評価制度の導入に向け、令和元年度から令和3年度にかけて、他大学の制度を調査し、適した評価方法や結果の反映方法を検討した。令和6年度には、検討結果を踏まえ、評価に必要な教員の活動状況を一元管理するシステムを構築し、評価案を作成中である。

⑥ 財務内容の改善に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[32]経費の削減及び効果的な予算編成	①	III	III	D 3	3
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
	④	III			
[34]産学官等との連携による寄附講座の開設	①	III	III	D 3	3
	②	III			
[35]研究活動における外部資金の獲得	①	V	V	D 3	4
	②	V			
[36]長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
[37]計画的な情報システムの整備と有効活用	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
合計					19
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.2

(特筆すべき点)

[35]研究活動における外部資金の獲得

- ① 科学研究費の採択経験のある教員や担当職員による申請支援を通して、6年間で49件(年平均8.2件)の申請を行った。
- ② 科学研究費以外の外部の研究助成事業について、公募情報の積極的周知を行い、6年間で25件(年平均4.1件)の応募があった。

(遅れている点)

- ・ 特になし

⑦ 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
	④	III			
	⑤	III			
[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた広報活動の 展開	①	III	III	D 3	3
	②	III			
合計					6
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

・特になし

(遅れている点)

・特になし

⑧ 大学改革に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		取組毎	全体		
[40]時代の変化に対応した教育改革	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
合計					3
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし